

質疑並びに一般質問

市政各般及び議案について、
21人の議員が質問しました。
ここでは、その要旨の一部を
お知らせします。



市長退職金

市長退職手当特例条例の趣旨と目的は

問 今回の市長退職手当特例条例の趣旨と目的は何か。また、他の特別職退職手当への影響はないのか。さらに、議案成立により削減された予算をどのような目的に使用したのか。

答 今回の議案の趣旨と目的は、マニフェストの実現と財政再建に向けた決意をあらわすものである。これは、市長に限定された話であり、ほかの特別職退職手当への影響はない。なお、削減された退職手当分の予算の使途については、基本的に一般財源がふえる形であるため、特に使途を

特定できるわけではないが、枠ができることにより、市民サービスの維持向上に役立てることができればと考えている。

問 市長に退職金は必要ないと考えているのか。または、退職金は必要だが高過ぎるという点なのか。

答 今回の特例条例は、あくまでも個人の今在任期間に係る退職手当を支給しないという点で、一時的、例外的な措置である。したがって現在の退職金制度自体を否定することは全くない。退職金が高いか安いかは、民間の場合

は業績連動である程度妥当な水準がわかるが、行政の場合は人口規模や財政規模から総合的にどうかということしか言えず、そういった意味では意見は申しにくい内容だと思っている。

問 退職金は市長の業績に対する評価があつてのものであり、二、三年後に評価が見えてきたものであれば議論もできる。議案を提出する時期について、なぜ今でなければならぬのか。

答 マニフェストの段階で、任期中の退職金は受け取らないと掲げており、なるべく早めに提案することが大事と考えた。3月の予算の審議が終わった後の落ちついた時期ということで、今回提案させて

保健福祉

子宮頸がん予防ワクチン接種公費助成を求める

問 以前からがん対策に力を入れてきた市としては、未然に防げるよう率先して子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を助成すべきでは。

答 子宮頸がんの主な原因であるヒトパピローマウイルスは120種類以上確認されているが、その中で発がん性の高いものが15種類ある。現状のワクチンはその中の2種類に高い予防効果があるとされているが、予防効果の持続性は不明である。現在ワクチンは任意接種で保険適用外であり、市単独での助成は難しい。今後、法に基づく位置づけで国からの財源の手当てや予防接種による健康被害の救済措置が大きく変わってくるので、国の動向を注視していきたい。

問 市では20年度から年1回市民公開講演会を開催している。また、市の新規採用職員を対象とした研修や希望者による夜間自主講座などで、普及啓発を図っている。ストレスを抱える子供がふえる中、今後は教師を対象とした講座についても検討していきたい。19年度からスタートした認知

が必要と考えるが。

問 宮崎県で猛威を振るっている口蹄疫について、市としての情報収集や発生時の対応方針は。また、市内の家畜の飼育状況は。さらに、今後予定している予防的措置はあるのか。

答 家畜伝染病の防疫については、県の中央家畜保健衛生所から市町村や各家畜農家に情報を伝達しており、発生時には県のマニュアルに従って対応することとなっている。また市内には養豚農家が5軒あるが、牛については現在飼育されていない。さらに予防的措置として、5月末までに消毒用の消石灰を市で購入し、各養豚農家へ配付しており、県畜産協会でも口蹄疫発生予防緊急対策事業として消石灰の配付を計画している。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、存続を求めようとする地域や市民の要望を市はどのように受けとめたのか。

答 千代田近隣センターの廃館問題については、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 厚生労働省が「広域化等支援方針の策定について」と

市民生活

千代田近隣センターの廃館問題

問 千代田近隣センターの廃館問題について、存続を求めようとする地域や市民の要望を市はどのように受けとめたのか。

答 千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

環境

CO₂削減の条例改正を

問 地球温暖化対策条例の改正内容は都市計画部門を窓口とするものが含まれる。環境だけでなくまちづくり全体の側面から条例改正を考えると必要があると思うが、市内でどのような議論があつたのか。

答 都市計画部、環境部が中心となり、まちづくり関連条例等への位置づけを含めて検討した。温暖化対策が喫緊の課題であり、庁内横断的な取り組みをする有効性から地球温暖化対策条例に位置づけるのが妥当であると考えた。

問 多くの自治体で生ごみの堆肥化やビニール・プラスチック類の燃料化などリサイクル

答 窓や外壁の断熱改修が対象のエコリフォームは、国の

問 多くの自治体で生ごみの堆肥化やビニール・プラスチック類の燃料化などリサイクル

答 窓や外壁の断熱改修が対象のエコリフォームは、国の

問 多くの自治体で生ごみの堆肥化やビニール・プラスチック類の燃料化などリサイクル

答 窓や外壁の断熱改修が対象のエコリフォームは、国の

財政

市税等の収納対策は

問 市税等の収納率向上には、秘策というものはなく、原理原則にのっとって滞納処分を行えているかどうか。キーポイントであると思われる。今後どのように取り組むつもりなのか。

答 原理原則といったものが人材面、システム面等できちんと連動していなかった部分があり、対応が遅れてきたものと認識している。その反省を踏まえ、現在検討会を立ち上げ検討を進めているところである。

問 本市でも収納対策検討会を立ち上げ、収納率を初め関係部署の職員がメンバーとなり検討作業が行われているようであるが、今後のスケジュールはどうなっているのか。また公債権については当面横

問 深刻な社会問題となっているうつ病対策について、新たな治療法である認知行動療法の普及啓発と今後の取り組みは。また、千葉大学との連携の取り組みと専門家の養成



がん対策に力を入れる保健所

問 市では20年度から年1回市民公開講演会を開催している。また、市の新規採用職員を対象とした研修や希望者による夜間自主講座などで、普及啓発を図っている。ストレスを抱える子供がふえる中、今後は教師を対象とした講座についても検討していきたい。19年度からスタートした認知

問 宮崎県で猛威を振るっている口蹄疫について、市としての情報収集や発生時の対応方針は。また、市内の家畜の飼育状況は。さらに、今後予定している予防的措置はあるのか。

答 家畜伝染病の防疫については、県の中央家畜保健衛生所から市町村や各家畜農家に情報を伝達しており、発生時には県のマニュアルに従って対応することとなっている。また市内には養豚農家が5軒あるが、牛については現在飼育されていない。さらに予防的措置として、5月末までに消毒用の消石灰を市で購入し、各養豚農家へ配付しており、県畜産協会でも口蹄疫発生予防緊急対策事業として消石灰の配付を計画している。



消費生活センター(そごうアネックス5階)

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。

問 千代田近隣センターの廃館問題について、千代田近隣センターは耐震上の問題を含む建物の安全性や補強工事に係る費用と効果、財政状況やコミュニティ構想等を勘案し、総合的に検討した結果、補強工事や建てかえは難しいという状況である。市としては公共施設を安心して利用してもらうことが最も重要であると考えている。したがって、今回廃館せざるを得ない市の考え方について理解いただけるよう、繰り返し説明していきたい。



本庁舎緑のカーテン